

みんなで育てる福祉のこころ



1人は万人のために 万人は1人のために



第554号

発行日 毎月20日
定価一部 15円※会員の購読料は
会費の中に含む(一社)佐賀県労働者福祉協議会 佐賀市神野東四丁目7番3号 TEL 0952 (32) 1243
ホームページアドレス: <http://saga.rofuku.net/>発行人 青柳 直
編集人 江頭 一哉

自治体への要請行動を展開中

県知事宛要望書を提出

10月24日(月)、10時から県庁内会議室において、県知事への要望書を提出しました。要望書は労福協、生協連で取りまとめた7項目の要望で、平成29年度予算編成及び県政への反映を求める内容としています。

要望書の提出は、労福協、事業体、生協連から6名が出席し、県より石橋産業労働部長を始め、産業人材課を含めて4名で対応していただきました。

労福協青柳理事長、県から石橋部長からそれぞれ挨拶を受け、事務局より具体的な要望事項について説明し、意見交換を行って終了しました。



【県知事への要望事項】

1. 佐賀県労福協への活動補助金について
2. 連帯経済を促進する協同組合の促進・支援について
3. 大規模災害等の被災者支援について
4. 格差・貧困社会の是正・ナショナルミニマムの保障、セーフティネットの強化について
5. 「ライフサポートセンターさが」の県民への広報・宣伝について
6. 今後の介護予防・日常生活支援総合事業について【生協連】
7. 自然災害被災地支援において、県との協力で実施する支援活動の更なる充実について【生協連】

第46回佐賀県高齢者集会 第45回佐賀県社会保障推進大会開催

10月17日(月)10時より「ホテル マリタール創世」で、「生き生きと安心して暮らせる社会をつくろう」をテーマとした全国高齢者集会に参加いただいた、佐賀県退職者連合秋山会長より集会報告と、佐賀大学大学院医学系研究科松尾清美准教授より「寝たきりにならないために」と題した講演を中心に開催しました。

退職者連合、各組織のOBの方、労働組合、各事業体、地区労福協の皆さん126名の方々に参加していただきました。

違い馬頭

日本磁器発祥の地として長い歴史を持つ有田は、今年、「日本磁器誕生・有田焼創業400年」となっています。皆さんもご存じの通り、春に行われる有田陶器市は、100万人を超える人出で賑わうことでとても有名ですが、400年ということで、今秋、改めて有田の町を振り返ってみました。

私には「有田焼」のイメージしかなかったのですが、有田の歴史をつづった本によれば、400年ほど前には有田に金山があったとのことであり、新たな発見でした。

また、有田には紅葉の美しい場所がたくさんあり、ここで紹介したいと思います。

・泉山弁財天の大公孫樹

樹齢約1000年で、巨木全体の葉が例年11月中旬になると黄色に色づき始めます。木の下にある口屋番所跡は、江戸時代に佐賀藩の役人が常駐し、陶石や焼き物の持ち出し等を厳しく取り締まっていたところだそうです。

・有田町歴史民俗資料館周辺

資料館を取り巻く約100本の紅葉が見ごろを迎える11月頃になると赤や黄色に染まった遊歩道での散策が楽しめます。秋が深まるにつれ、道には落葉がじゅうたんのようになり広がります。

・泉山磁石場

陶工・李参平によって有田焼の原料となる陶石が発見された、日本磁器発祥の地である泉山磁石場は、有田の隠れた紅葉スポットです。秋が深まるにつれ周辺の木々が赤や黄色に色づき始めます。

・陶山神社

応神天皇を祀っている神社で、大鳥居、狛犬、大水瓶、欄干などが磁器で作られています。赤や黄色に変化していく紅葉と磁器製の鳥居とのコントラストがきれいです。

有田焼創業400年である今年については様々なイベントが催されています。皆さんも焼き物と併せて一味違った秋の有田をゆっくりと楽しんでみませんか。

(N・Y)

第21回介護職員 初任者研修が終了

6月12日(日)の開講式から延べ4カ月にわたる研修が10月30日(日)の閉講式をもって終了しました。

研修は、仕事をしながら受講できるよう土曜・日曜を中心に設定し、全カリキュラムを終えられ、終了試験にも20名の受講生全員が合格されました。

受講生の皆さんが、この研修を契機に今後、地域や家庭でご活躍されることを祈念いたします。



2016年度労働者福祉 南部ブロック研究集会を開催

標記、研究集会を10月26日(水)～27日(木)、熊本市「ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ」において開催しました。

開催主旨は、労働者福祉運動の推進に当たり、研究・学習するとともに、共通認識に立つ場として、九州各県(沖縄県を含む)の労働団体、福祉事業団体を対象に毎年実施しています。

当初計画では、佐賀県での開催としていましたが、4月14日以降の「熊本地震」により甚大な被害が発生した熊本県を支援することを目的に熊本県開催としました。

研究集会は、「生活困窮者の支援活動の紹介から見えてくる課題」「生活困窮者自立支援制度の取組み」及び「防災スペシャリストになる!」の講演3本と、翌日は熊本城の被災状況視察と城彩苑を訪問しました。



2016年12月 ご来店キャンペーン実施中!!



保障のことなら何でも、
お気軽にご相談ください!

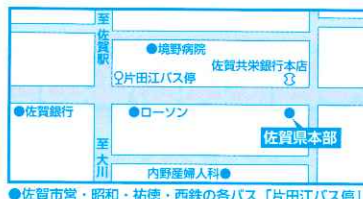
あなたにピッタリ!暮らしに安心、納得の保障選びを全労済がお手伝いします!

例えば
こんなときに?

- ①「詳しく共済商品のことが聞きたい!」
- ②「保障の見直してよく聞くんだけど、何から始めればいいの?」
- ③「申込書類の書き方がよくわからない!」
- ④「現在の保障内容を手厚くするにはどうすればいいの?」
- ⑤「毎月の掛金はどのように支払うの?」
- ⑥「毎月支払う掛金を安くするためには、どうすればいいの?」

全労済 佐賀県本部

(佐賀県労働者共済生活協同組合)
〒840-0054 佐賀市水ヶ江2-2-19
営業時間/9:00~17:00(土曜・日曜・祝日を除く)



●佐賀市営・昭和・祐徳・西鉄の各バス「片田江バス停」
下車徒歩3分。駐車場有り。

全労済佐賀県本部の情報がご覧いただけます。

全労済佐賀県本部ホームページ

▶ <http://www.zenrosai.coop>

このキーワードで
検索してください。

さが りょうさい

佐賀6031

検索

第5回LSC実務者・相談員研修会開かれる

中央労福協が主催して表題の研修会が11月1日～2日にかけて大阪市内で開かれた。これは、LSC(ライフサポートセンター)相談員の知識の習得と相談体制の強化を目的としたもの。今回は、中原税理士による「相続税に関する知識と相談業務の留意事項」について、産業カウンセラーキャリアコンサルタントの熊澤さんからは「職場のメンタルヘルスと相談対応の留意点」、「認知症と予防に関する単元」としてアリアミュージック堀口直子さん、「マネートラブルにかつ!」改定5版の話を勝又長生さんが話をされた。

ライフサポートセンターは多種多様な「なんでも相談」を受けています。毎週月曜日は連合佐賀のアドバイザーによる労働問題相談窓口を、さらに毎月1回第3日曜日に弁護士による無料法律相談会を開催しています。

相続問題・金銭トラブルなど困った時は一人で悩まずお気軽にご相談下さい。無料法律相談会の日程は下記のとおりです。下記フリーダイヤルに事前の予約をお願いします。

○無料法律相談会開催日程

第49回 2016年12月18日(日) 午後1時～4時

第50回 2017年 1月15日(日) 午後1時～4時

* 来年2月以降も開催します。

お申込み
お問い合わせ先

ライフサポートセンターさが

0120-931-536

LSC実務者・相談員

中央労福協



中央労福協を代表してあいさつする花井事務局長

第11回推進役員交流集会開催!

10月7日(金)佐賀市の四季彩ホテル千代田館において、「九州ろうきん佐賀県本部第11回推進役員交流集会」が開催されました。

本集会は毎年、ろうきん推進機構の目的や役割について認識を深めるとともに、各店(地域)推進委員会の活性化、および「しあわせ創造運動」のさらなる発展を目的として開催しており、11回目を迎えた今年度は、県内各地より総勢118名の九州ろうきんの店(地域)推進委員会役員や運営委員、会員書記の皆さま、同じ福祉事業体として全労済佐賀県本部から経営委員の皆さまが参加されました。

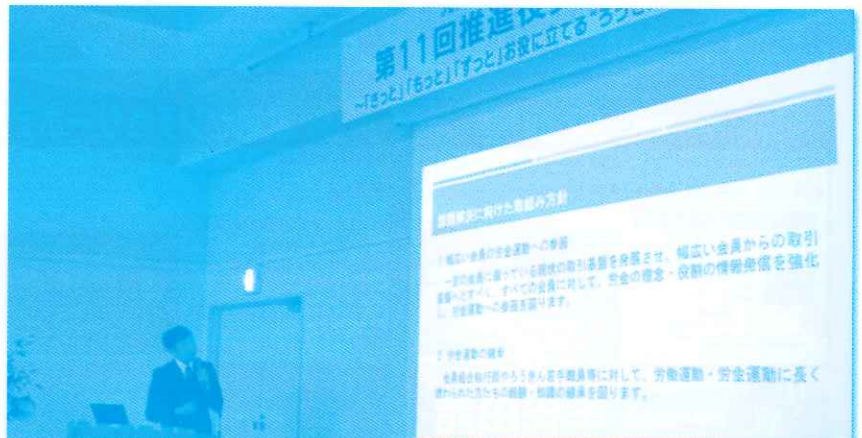
集会では、全国労働金庫協会ろうきん運動推進アドバイザーである館克則氏による、「くろうきん」と会員・推進機構との協働による統一的な取り組み」というテーマでの講演と、推進委員が主体となって今後のろうきん運動について考え発表する分散会が行われ、日頃よりろうきん運動に携わっておられる参加者同士の活発な議論が展開されるなど、本集会は成功裡に終わりました。

また、今年も昨年に引き続き同じ労働者福祉事業体として、全労済佐賀県本部から挨拶と共済制度の説明をされました。

集会終了後に開催された交流懇親会では、会員組合の枠を越えて参加者相互の親睦を深めました。



分散会の様子



館講師による講演

学生と社会人のワールドカフェ開催

10月23日(日)、佐賀大学にて「学生と社会人のワールドカフェ」が開催されました。ワールドカフェとは、1グループ少人数に分かれたテーブルで自由に意見を出し合い、グループメンバーを交代しながら議論を重ねて発展させていく手法のことです。

今回は『色々な生き方・働き方があることへの気づき』を主軸として4つのテーマで佐賀大学の学生と県内各企業から参加された社会人とで話し合いが行われ、九州ろうきんからも職員が参加し、学生たちと共感・交流を深めながら密度の濃い時間を過ごしました。

以下、ろうきん佐賀支店から参加した福井職員のコメントです。

『学生と社会人のワールドカフェということで、社会人側参加者として参加させていただきました。何を話せばいいのか迷っていましたが、実際に始めてみると、名前の通りカフェにいるかのようなリラックスした雰囲気です。話をすることができました。

「何のために働くのか」・「働くうえで何を大切にするのか」等、自分の考えを学生たちに伝えると同時に、学生たちの考えや思いを聴く中で、今までになかった新しい気づきやアイデアを得る事ができて、私自身も勉強になりました。』



グループトークの様子

